

2025 年 9 月 2 日

報道関係各位

GMO ブランドセキュリティ株式会社

88.9%がメールを受信時に「怪しい」「不審」と感じた経験あり ～なりすましメール対策に関するアンケート調査を実施～

GMO インターネットグループの一員であり、なりすまし監視・削除支援（ブランドセキュリティ）サービスを展開する GMO ブランドセキュリティ株式会社（代表取締役社長：中川 光昭、以下「GMO ブランドセキュリティ」）は、2025 年 7 月 24 日に GMO リサーチ&AI 株式会社を通じて、1,108 名を対象になりすましメールに対する意識と対策状況についてアンケートを実施しました。

その結果、メール受信者の高いセキュリティ意識に反して、メール配信事業者における DMARC（なりすましメール対策設定）/BIMI（企業ロゴ付きメール）によるメールセキュリティ施策の普及は十分ではない実態と、その中で「BIMI（企業ロゴ付きメール）」の導入により、受信者がメールの正当性を直感的かつ容易に見分けられることが確認され、導入の明確なメリットが示されました。



【アンケート調査実施の背景】

巧妙化する迷惑メール対策として、2024 年に Google が Gmail 送信ガイドラインを変更したことを機に「DMARC（なりすましメール対策設定）」導入が国内で急増しました。一方で、送信元ロゴで安全性を視覚的に示す新技術「BIMI（企業ロゴ付きメール）」の普及はまだ始まったばかりです。本調査は、こうした導入時期の差や現状の普及状況を踏まえ、メール受信者の意識とメール配信事業者側の対応実態、ならびに BIMI（企業ロゴ付きメール）導入による効果を明らかにすることを目的として実施しました。

【アンケート調査概要】

- ・アンケート対象：2025 年 7 月 24 日にインターネットでアンケート調査を実施
- ・回答者数：1,108 名（メール受信者 577 名とメール配信事業者 531 名の合計）

- ・男女比：871 名（78.6%）、女性 237 名（21.4%）
- ・年代：10～70 代（メール受信者 577 名の内訳）
10 代（6.9%）、20 代（15.6%）、30 代（16.1%）、40 代（16.3%）、50 代（15.1%）、60 代（14.8%）、70 代（15.3%）
- ・調査方法：インターネットアンケート
- ・調査主体：GMO リサーチ&AI 株式会社

【調査サマリー】

- ・577 名のメール受信者のうち、88.9%が過去に怪しい・不審と感じるメールを受け取っていた。
- ・怪しい・不審と感じたメールを受信した際に、73.9%がメールを開封せず削除し、高いセキュリティ意識をもっていることが示された。
- ・また 75%が、BIMI（企業ロゴ付きメール）を見て直観的に正当なメールと判断した。
- ・531 名のメール配信事業者のうち、55.6%が DMARC（なりすましメール対策設定）を導入している。
- ・また BIMI（企業ロゴ付きメール）の導入は 19.8%にとどまった。

【アンケート調査結果】

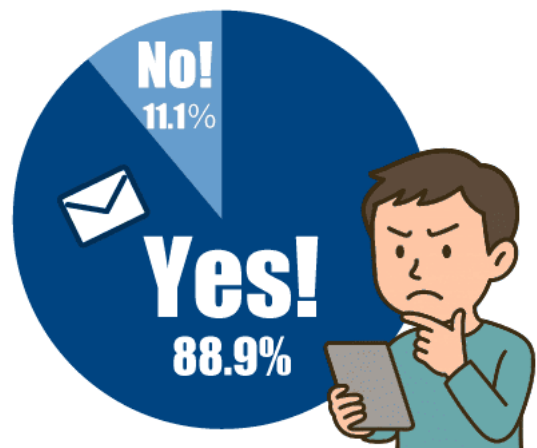
調査 1：メール受信者 577 名のメールを受け取った体験について

企業やサービスからのメール（メールマガジン、通知メール等）を受信している、または過去に受信していた 577 名を対象にアンケート調査を実施しました。主な結果は以下の通りです。

【質問 1】メールを受信した際に怪しい・不審だと感じた経験はありますか？

88.9%が「はい」

11.1%が「いいえ」と回答

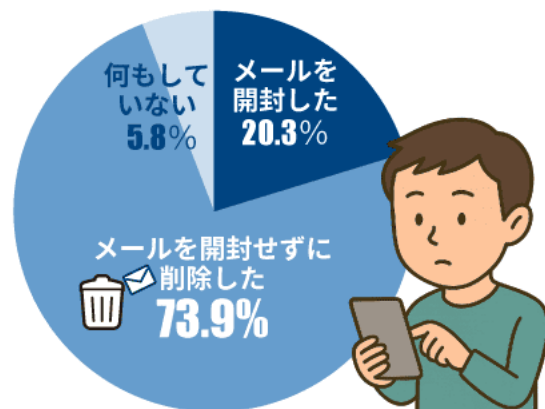


【質問 2】怪しい、不審に感じたメールを受信した際に、どのような対応をしましたか？

73.9%が「メールを開封せず削除した」

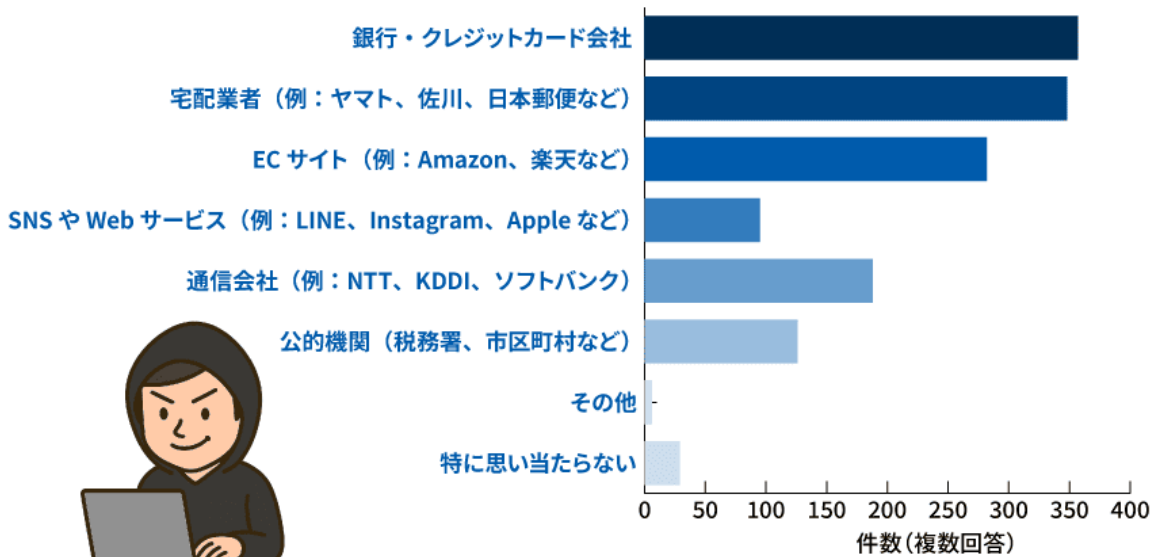
20.3%が「メールを開封した」

5.8%が「何もしていない」と回答



【質問3】怪しい、不審だと感じるメールが多い業界はどれですか？（重複回答あり）

銀行・クレジットカード会社、宅配業者、EC サイト、通信会社、公的機関、SNS や Web サービスの順に回答数が多かった



【質問4】メールを受信した際、下記、A、B のどちらが正当なメールだと感じますか？

75%が「A」

25%が「B」と回答



【質問5】メールを開封後、青いチェックマーク、またそれをクリックすると下記のようなメッセージが表示されます。正当なメールと判断する際に役立つと思いますか？

84.4%が「はい」

15.6%が「いいえ」と回答

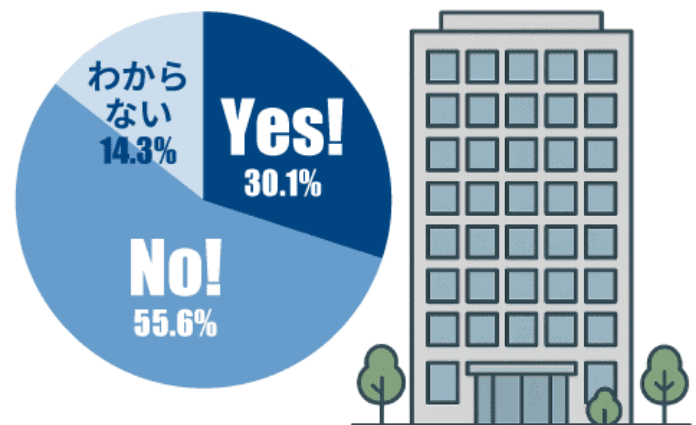


調査 2：メール配信事業者 531 名のメールセキュリティ対策状況について

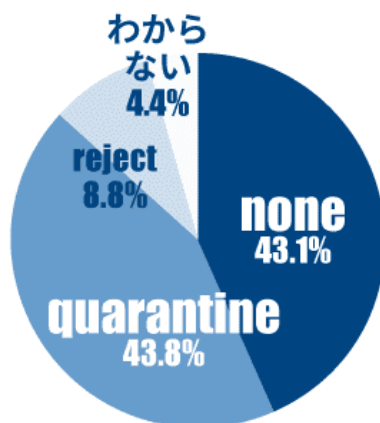
セキュリティ、システム、ネットワーク管理、マーケティング等の業務で、メール配信に関わっている 531 名を対象に、BIMI 導入に必須となる DMARC 設定状況などについて、アンケート調査を実施しました。主な結果は以下の通りです。

【質問 6】貴社では、DMARC を導入していますか？

- 55.6%が「いいえ」
- 30.1%が「はい」
- 14.3%が「わからない」と回答

**【質問 7】DMARC ポリシーはどのレベルで設定されていますか？**

- 43.8%が「quarantine（隔離）」
- 43.1%が「none（監視のみ）」
- 8.8%が「reject（拒否）」と回答

**DMARC (なりすましメール対策設定) ポリシー**

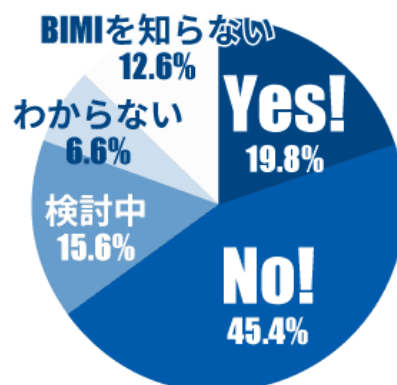
none (何もしない)： メールを監視するだけでブロックしません。

quarantine (隔離)： 不正なメールを迷惑メールフォルダに入れます。

reject (拒否)： 不正なメールを受信しません。

【質問 8】貴社では、メールに企業ロゴを表示する BIMI を導入していますか？

- 45.4%が「いいえ」
- 19.8%が「はい」
- 15.6%が「検討中」
- 12.6%が「BIMI を知らない」
- 6.6%が「導入しているかわからない」と回答



【アンケート調査結果の無償ダウンロード】

他にも多くの項目についてアンケート調査を実施しています。詳しい内容をご覧になりたい方は、以下のページ「資料ダウンロード」から結果資料をダウンロードしてください。

https://brandsecurity.gmo/security/service/bimi_vmc/

【GMO ブランドセキュリティについて】（URL： <https://brandsecurity.gmo> ）

GMO ブランドセキュリティは、“すべてのブランドにセキュリティを”というスローガンのもと、ブランド侵害リスクに対して、インターネットを中心に監視サービスや権利行使のサポートを提供しています。また、権利行使の前提となる商標やドメインネームの取得支援や管理サービスも提供しており、ワンストップでブランドを安心・安全な状態に導きます。

GMO ブランドセキュリティの提供するサービスは、国内を代表するグローバル企業をはじめ、2025年8月時点で約2,000社にご利用いただいています。

以上

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO ブランドセキュリティ株式会社 営業・マーケティング事業本部 マーケティング部 藤田
TEL : 03-5784-1069
E-mail : mrk@brandsecurity.gmo

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO インターネットグループ株式会社 グループ広報部 PR チーム 田部井
TEL : 03-5456-2695
お問い合わせ : <https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【GMO ブランドセキュリティ株式会社】（URL： <https://brandsecurity.gmo>）

所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 中川 光昭
事業内容	■ 企業ブランドの構築支援コンサルティング ■ ドメイン登録・更新・管理適正化 ■ ドメインネーム権利者・使用実態調査及びリスク対策

	■ 商標登録支援等ブランド保護 ■ 商標権利者・使用実態調査及びリスク対策 ■ 模倣品・模倣サイト監視等リスク対策 ■ ブランド TLD 登録・活用支援
資 本 金	1 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://group.gmo/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社 (グループ経営機能) ■ グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

(C) 2025 GMO BRAND SECURITY Inc. All Rights Reserved.